



NEWS

THE TETSUJIN NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人二コース事務局
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128
FAX.042-762-9593
編集 鈴木明子
https://www.tobu21.co.jp

Vol.163
2024
3月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!



e-pile next

e-pile next工法は、状粘土質地盤でも 砂質・礫質地盤でも安心のワン・タイプ形状対応です!

某共同住宅新築工事

本件は、川崎駅からほど近い場所に建設される 鉄筋コンクリート造の地上9階建と地上7階建の共同住宅新築工事です。

今回の計画地盤は土質が深度毎に変化、混在しており特に支持層以浅の粘土層での貫入時スリップによる空転高止まりの懸念や、支持層となる砂質地盤への確実な根入れ等が大きな課題となっておりました。

計画開始当初は他社工法で検討されておりましたが、これまでの数多くの実績から難工事での施工対応、コスト、納期の他、採用いただきました最大のポイントは、ワン・タイプ形状で大臣認定を取得していることで、先端土質変化による悪影響を受けない、ことに加え、先端羽根付鋼管杭なら(株)東部で、という元請様の強いご推薦もありe-pile next工法を採用いただくこととなりました。

実施工に於いても、先端特殊部の「高力構造」と貫入性に優れた「菱形切削孔」が威力を発揮して確実に支持層を捉え、全数設計深度で精度良く打ち止めできたことで、確かな施工品質をご提供することができました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板の安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事完工できました。

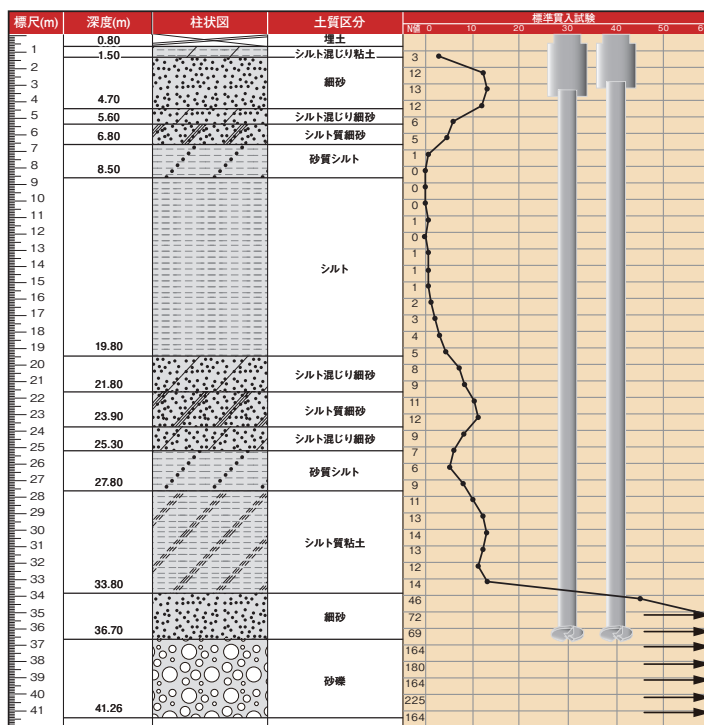
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某共同住宅新築工事	杭 径	φ406.4mm(北棟)、φ355.6mm(南棟)
施工地	川崎市幸区	拡翼径	Dw 1000mm(北棟)、850mm(南棟)
用途	共同住宅	拡頭径	—
構造	鉄筋コンクリート造地上9階(北棟)+地上7階(南棟)	深 度	SGL -35.7m(北棟)、GL-36.0m(南棟)
延床面積	576.74㎡	支持力	2,056kN(北棟)、1,801kN(南棟)
工期	2024年1月22日~2024年2月3日	本 数	12本(北棟)、8本(南棟) 合計20本

ボーリング柱状図



e-pile next

国土交通省大臣認定工法



全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定

TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)

TACP-0484 粘土質地盤

日本環境協会

エコマーク認定 08 131022号

日本建築センター

BCJ評定-FD0540-01

BCJ評定-FD0541-01

BCJ評定-FD0542-01

基礎評定(引抜支持力)

砂質地盤

礫質地盤

粘土質地盤

■ 全ての鍵は杭先端にあり

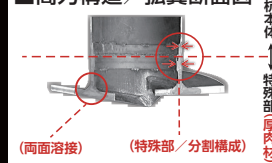
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

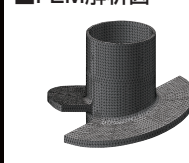
■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

Tobu 株式会社 東部
https://e-pile.com

■ 本社
〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971
■ 本店/ 経理室
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2
朝日生命幡ヶ谷ビル6階
TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124
■ 相模原機材センター
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37
TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



令和6年能登半島地震災害義援金【日本赤十字社】

令和6年能登半島地震で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

日本赤十字社では、令和6年能登半島地震災害による義援金を受け付けております。お寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。※寄付先には「被災地全域への寄付(日赤本社開設口座)」と「地域を限定しての寄付(日赤支部開設口座)」があります。どちらの寄付でも被災地が1箇所の場合、その都道府県の義援金配分委員会へ全額が送られます。

受付期間: 2024年1月4日(木) から 2024年12月27日(金) まで

義援金受付額(2024年1月25日時点)

14,596,921,273円

詳しくは
日本赤十字社のHPを
ご確認ください

ワンポイント 健康コラム

<<3月18日は「春の睡眠の日」です。>>

睡眠の日

3月18日は日本睡眠学会と精神・神経科学振興財団が設立した睡眠健康推進機構が、睡眠健康への意識を高めることを目的に制定した「春の睡眠の日」です。ちなみに「睡眠の日」は、春(3月18日)と秋(9月3日)の年2回あります。



厚生労働省では睡眠について正しい知識を身につけ、定期的に自らの睡眠を見直して適切な量の睡眠の確保、睡眠の質の改善、睡眠障害への早期からの対応によって、事故の防止とともにからだところの健康づくりを目指して「睡眠12箇条」を提唱しています。

【睡眠12箇条】

- 第1条. 良い睡眠で、からだも心も健康に。
- 第2条. 適度な運動、しっかり朝食、ねむりとめざめのメリハリを。
- 第3条. 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。
- 第4条. 睡眠による休養感は、こころの健康に重要です。
- 第5条. 年齢や季節に応じて、ひるまの眠気で困らない程度の睡眠を。
- 第6条. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
- 第7条. 若年世代は夜更かし避けて、体内時計のリズムを保つ。
- 第8条. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
- 第9条. 熟年世代は朝晩メリハリ、ひるまに適度な運動で良い睡眠。
- 第10条. 眠くなってから寝床に入り、起きる時刻は遅らせない。
- 第11条. いつもと違う睡眠には、要注意。
- 第12条. 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を。



成人は毎日の睡眠時間を6時間以上確保することを推奨。こどもは1-2歳児は11-14時間、3-5歳児は10-13時間、小学生は9-12時間、中学・高校生は8-10時間の睡眠時間を確保することを推奨。また高齢者へは個人の体調や生活状況に合わせた睡眠時間、床上時間を見つけることを推奨しています。良質な睡眠のために、日中は出来るだけ日光を

浴びて適度な運動をすること。またカフェインやアルコールの過剰摂取には気を配り、睡眠障害が疑われる場合は早期の医療機関へ受診をしましょう!



経理マンが行く

ひな祭り

もうひな祭りの季節になりました。

2月に入って暑いほどの陽気だったり、雪が降ったり、暴風だったり、このところ天気が随分と不安定です。体調など崩さぬようご自愛ください。



さて、もうひな祭りの季節になりました。私も小さい頃はお雛様を出してもらいお祝いしてもらいましたが、そのひな人形の顔が怖くて近づけなかったことを覚えています。

ひな人形と言えば、ひな祭りの歌がありましたね。私も幼稚園の頃によく歌った記憶があります。ひな祭りを楽しむ様子が描かれているこの歌は実は「怖い」とされている部分があります。今回はその「怖い」部分を掘り下げてみましょう。

♪明かりを付けましょ ぼんぼりに〜から始まるこの歌詞ですが、途中「お嫁にいらした姉様によく似た官女の白い顔」とあります。この歌詞の意味としては、官女の顔を見てお嫁に行ってしまった姉を思い出しているの解釈するのが一般的ですが、実は作詞者であるサトウハチローさんの実話を歌ったのではと言われています。サトウハチローさんにはお姉さんがいました。しかしお姉さんは結婚が決まった矢先に結核にかかり亡くなってしまいました。このお姉さんを想い作詞した歌が「ひな祭り」だと言われています。「白い顔」は結核を発症し亡くなった時のお姉さんの顔の様子を歌ったと言われているので「怖い」歌とされたのかもかもしれません。

またこの歌には下記のような間違いもあります。
①「お内裏様とおひな様」・・・お内裏様(おだいらさま)とは男雛と女雛の男女1組を指す言葉です。「おひな様」はひな人形全ての事を指します。しかし、この歌だとお内裏=男雛 おひな様=女雛として歌っていますので間違いです。

②「赤いお顔の右大臣」・・・これはひな人形を飾られた事がある方はわかると思いますが、右大臣のお顔は「白い」のです。「赤いお顔」は左近衛中将(左大臣)なんですね。これはサトウハチローさんの勘違いだと言われています。歌が発表された時に間違いを指摘され訂正を求める声も多くあがったようですが、間に合わずこのままの状態に世に出てしまったようです。この間違いのせいで、サトウハチローさんはこの歌が大嫌いだったそうです。サトウハチローさんが嫌っていた歌でも、日本人なら誰もが知っている歌となり、子ども達が楽しく歌ってひな祭りをお祝いするので、もう訂正は意味がありませんね。今年もあちこちの保育園や幼稚園で、元気な声で歌う子ども達の歌が聞こえてきそうです。

